

令和3年度 第11回県政参画電子アンケート  
「とっとり学校図書館活用教育推進ビジョン改訂版（案）」に関する  
アンケート結果概要

## 1 調査概要

- テーマ 「とっとり学校図書館活用教育推進ビジョン改訂版（案）」に関するアンケート
- 実施期間 令和4年2月8日～2月21日
- 対象 県政参画電子アンケート会員 740名
- 回答数 463名(回答率 62.6%)

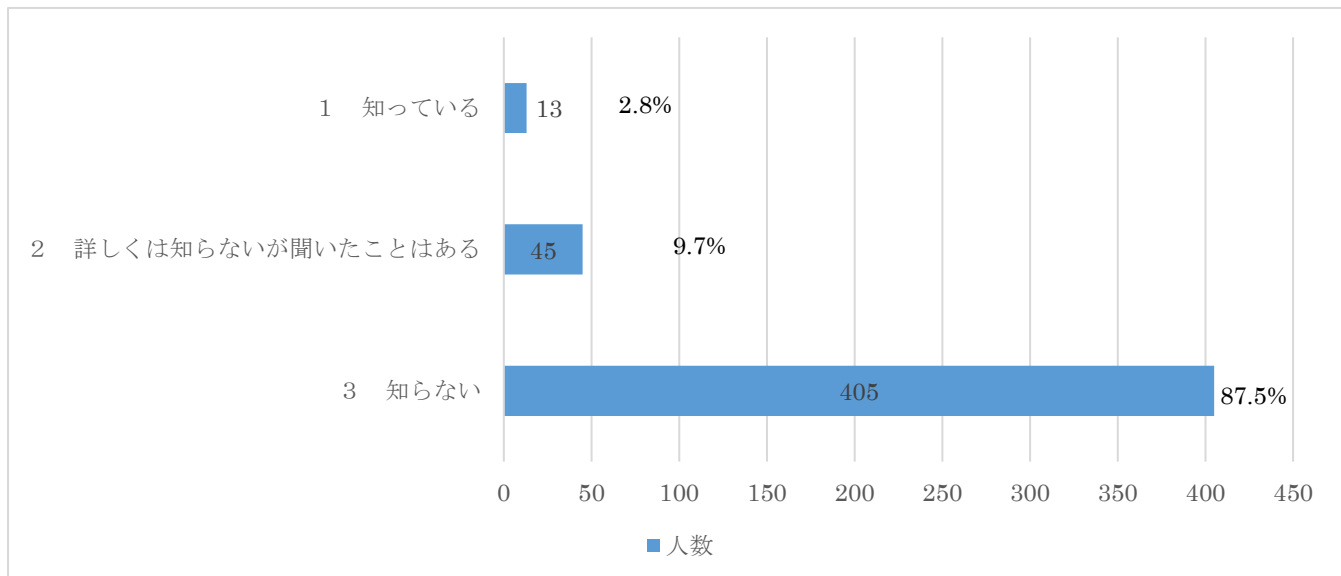
## 2 目的・概要

児童生徒の生きる力や主体的に学ぶ力の育成に向け、就学前から小・中・高校まで一貫した見通しを持った学校図書館活用教育を進める上での指針となる「とっとり学校図書館活用教育推進ビジョン」(以下「ビジョン」という。)を平成28年3月に策定し、子どもたちの情報活用能力の育成に取り組んできました。

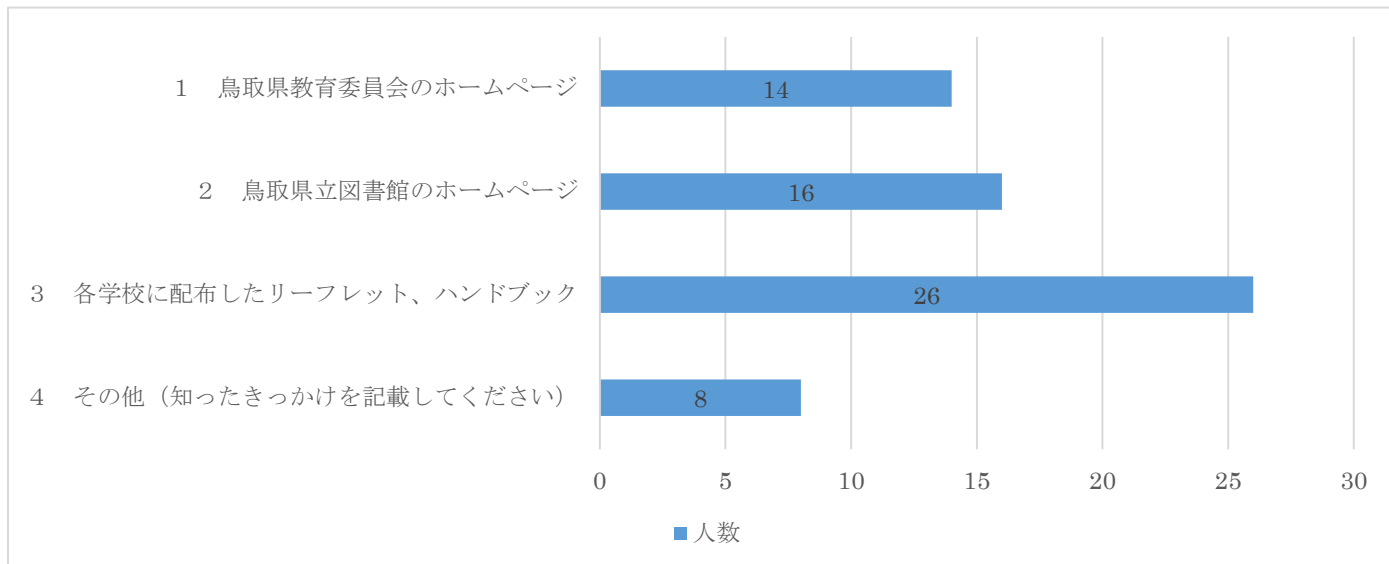
本年度、ふるさとキャリア教育を鳥取県の学校教育の根幹に据えて取り組むこととしたことやGIGAスクール構想の中で急速に導入が進められているICT活用教育に対応するために、子どもたちの情報活用能力の強化に取り組む必要が生じていることなど、学校教育を取り巻く環境が変化していることに鑑み、令和4年度以降およそ5年間の取組方針となるビジョンの改訂を行うこととしました。

今回のアンケートは、県民の皆様の意見をビジョン改訂に反映させるために実施しました。

### 【問1】平成28年3月に鳥取県教育委員会が策定した「とっとり学校図書館活用教育推進ビジョン」を知っていますか。

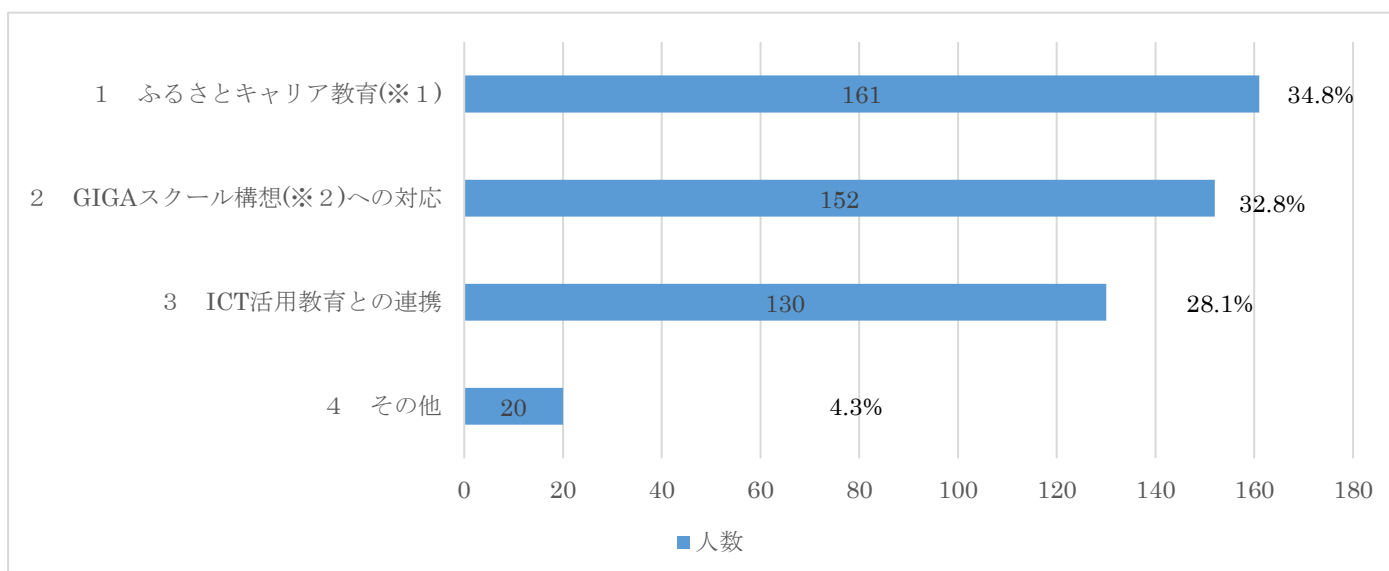


【問2】問1で「1」「2」を選択された方にお伺いします。「とっとり学校図書館活用教育推進ビジョン」をどのようにして知りましたか。

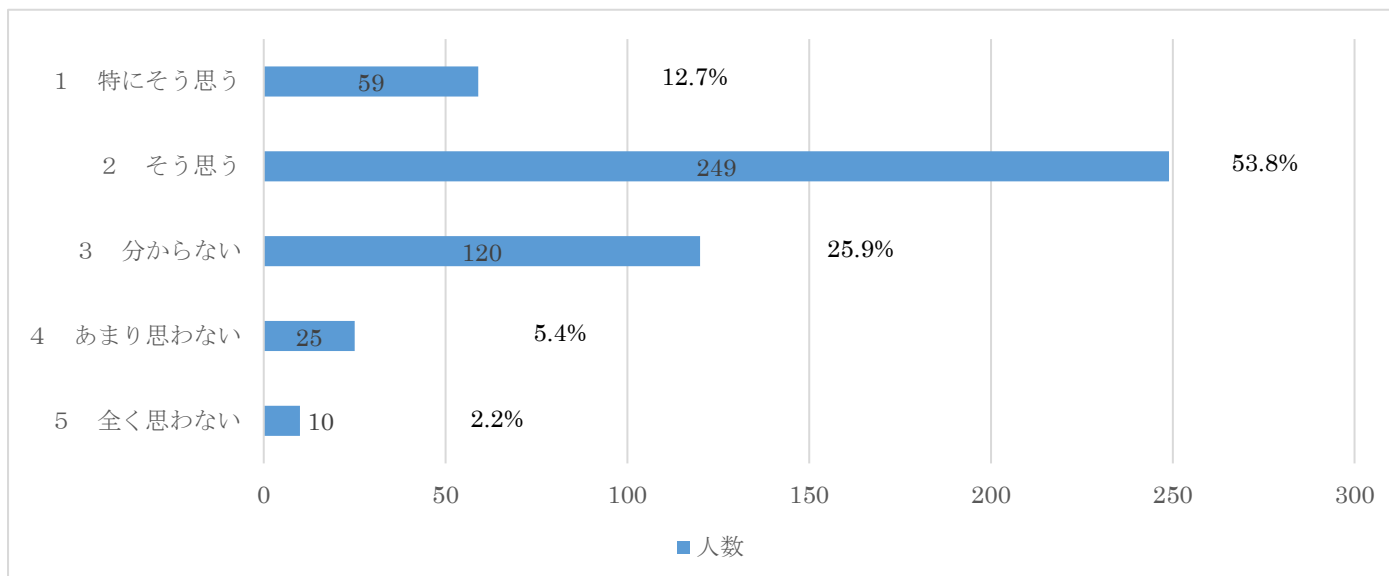


※複数選択可、回答者58名

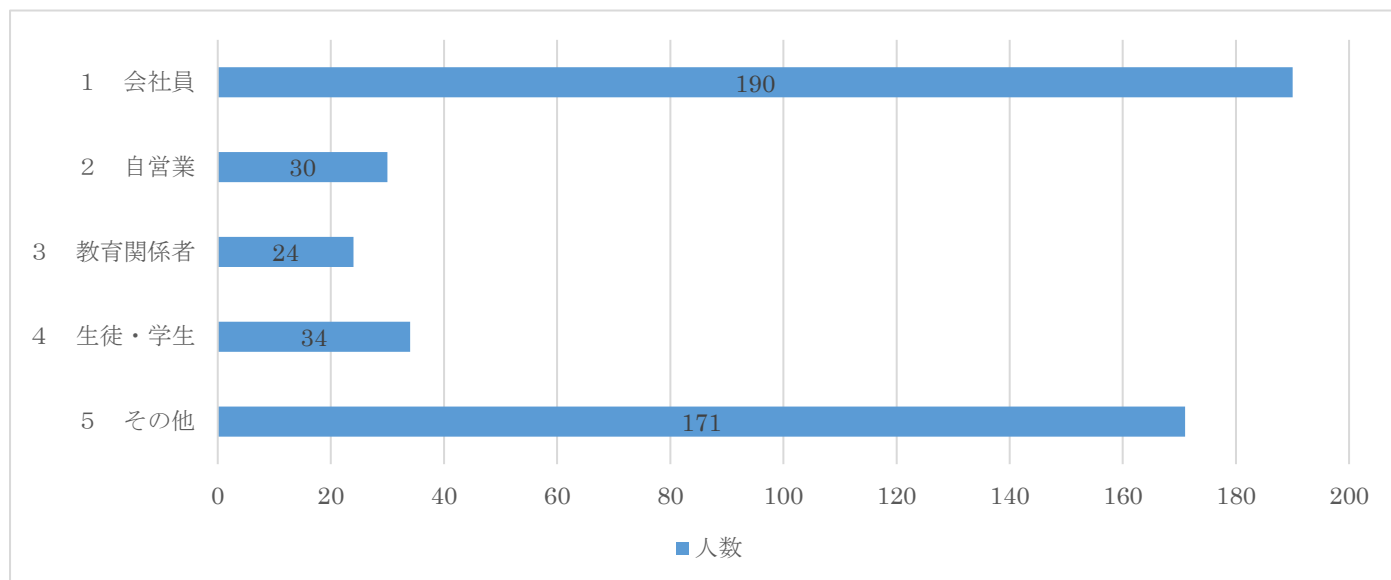
【問3】改訂版に新たに取り入れた視点の中で、特に重要だと思うものを選んでください。



【問4】「学校図書館の機能を活用することで身に付けたい情報活用能力」系統表は、就学前から高校までの育てたい子ども像を明確にし、系統的に目標を掲げています。この系統表を基に学校図書館活用教育を推進すれば、子どもたちの情報活用能力の育成につながると思いませんか。



【問6】差し支えなければ、職種を教えてください。



※任意回答、回答者449名